

次期総合計画策定に向けた県政世論調査結果(概要)

<目次>

調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査結果(抜粋)・・・・・・・・	2
県民の愛着について・・・・・・・・	2
県民の暮らしや価値観について・・・・・・・・	3
県施策のニーズについて・・・・・・・・	7

調査概要

1. 調査目的	- 本県の現状に対する認識や県政のニーズの把握 - 次期総合計画策定に向けての基礎資料
2. 調査対象	県内にお住まいの18歳以上の男女個人7,000名(無作為抽出)
3. 調査方法	- 調査用紙を郵送 - 調査用紙の返送またはWebにより回答
4. 回収数	回収数 2,819人(40.3%)
5. 調査実施期間	令和6年10月～11月
6. 備考	- 振興局別の7地域区分において、概ね400名の回答数を目標に実施 - 県全体の分析にあたっては、実際の人口比率に換算のうえ集計(ウェイトバック集計)

【回収結果】

	実数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
長崎・西彼地域	475	49	54	60	86	83	71	72	0
県央地域	459	63	44	65	77	64	82	63	1
島原半島地域	366	37	37	52	59	60	67	54	0
県北地域	449	38	46	71	84	62	79	69	0
五島地域	328	31	37	48	46	64	59	43	0
壱岐地域	339	39	40	40	49	56	57	58	0
対馬地域	393	42	49	54	58	56	67	67	0
無回答	10	2	1	0	0	0	0	1	6
合計	2,819	301	308	390	459	445	482	427	7

ウェイトバック集計においてはn=2,789人となる。

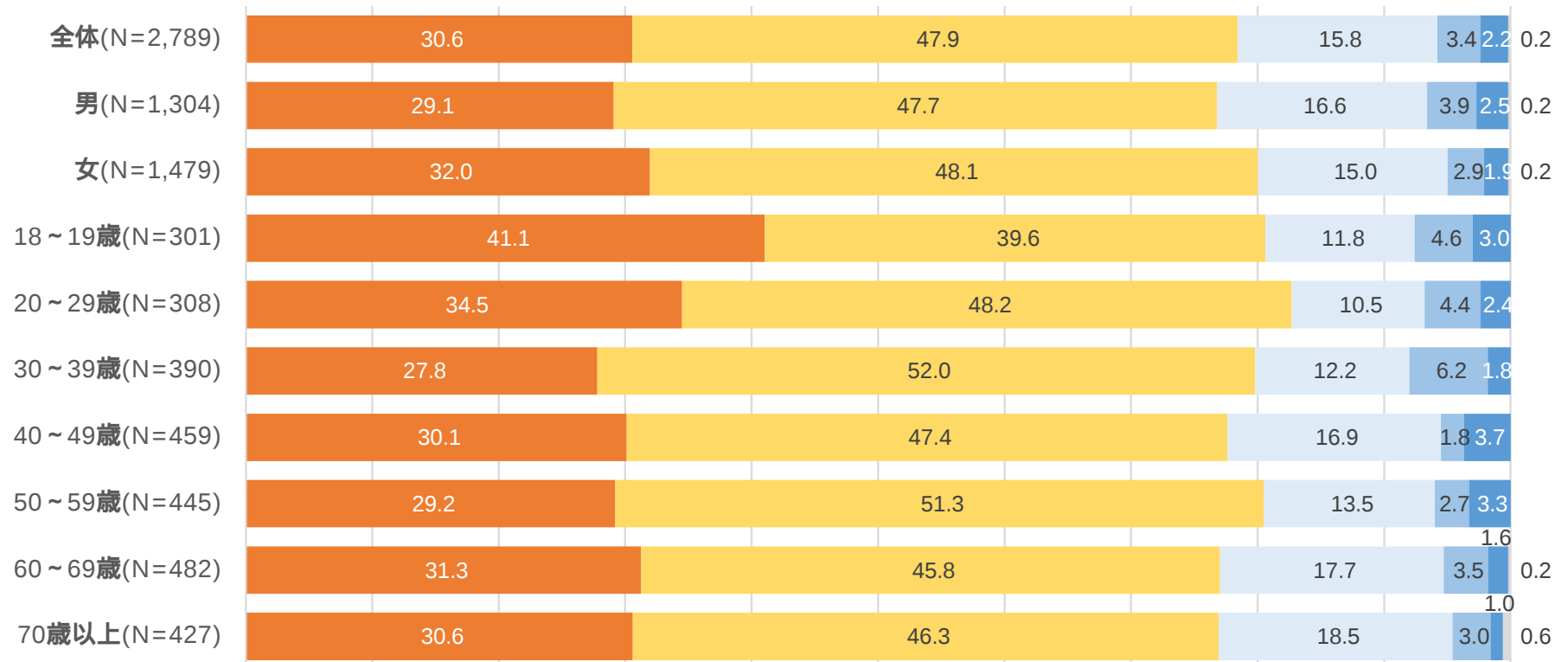
調査結果(抜粋)

< 県民の愛着について >

【長崎県への愛着】

全体の約8割の県民が愛着をもっている。

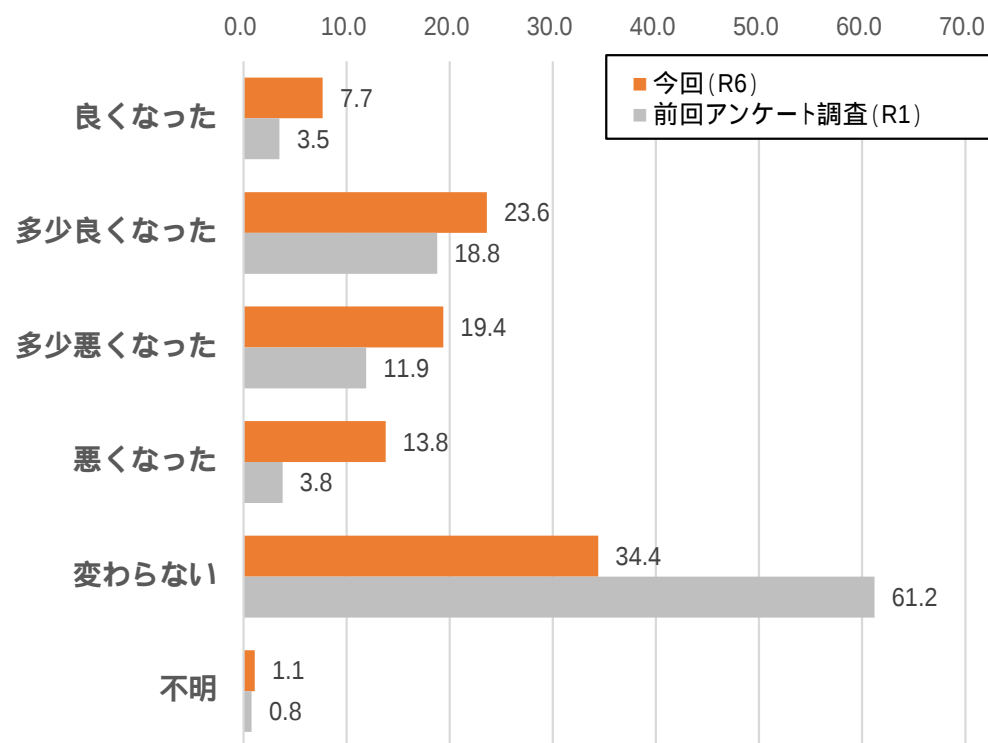
- とても愛着がある
- どちらかといえば愛着がある
- どちらともいえない
- どちらかといえば愛着はない
- 愛着はない
- 無回答



< 県民の暮らしや価値観について >

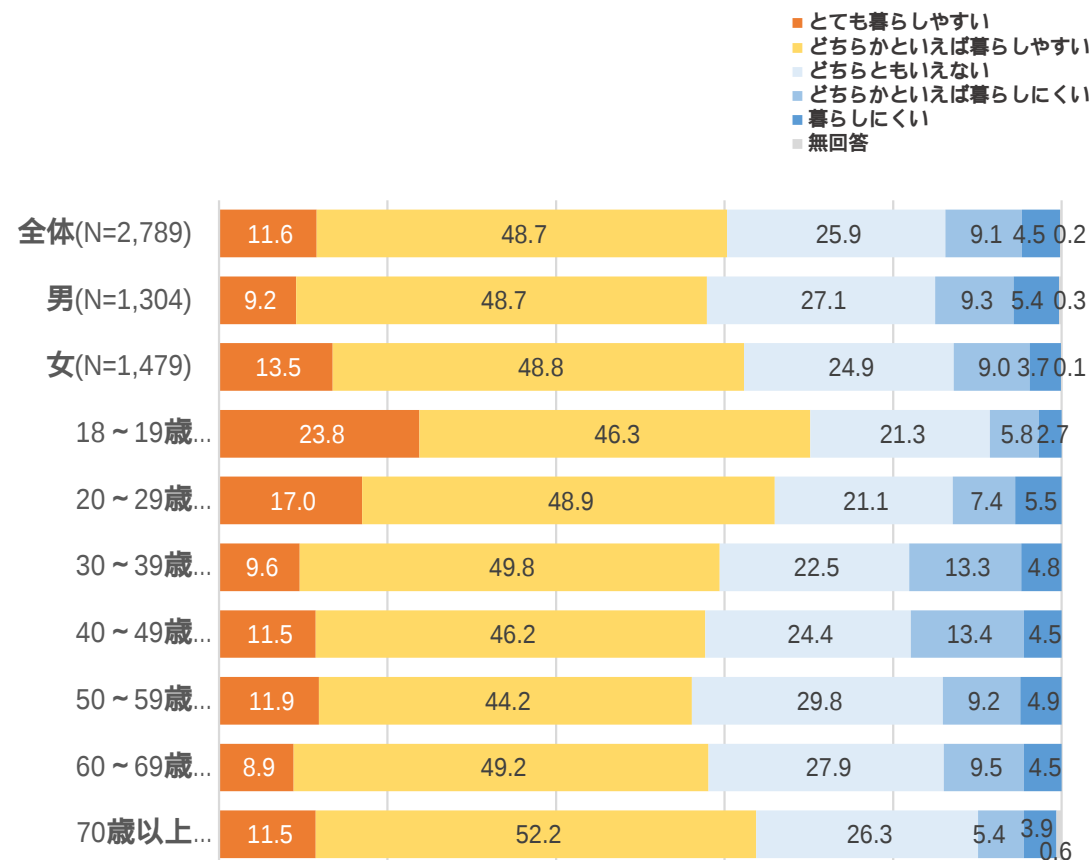
【暮らしやすさの変化】

- ・ 前回調査と比較して「良くなった」「多少良くなった」の合計が9ポイント増加
- ・ 前回調査と比較して「多少悪くなった」「悪くなった」の合計が17.5ポイント増加



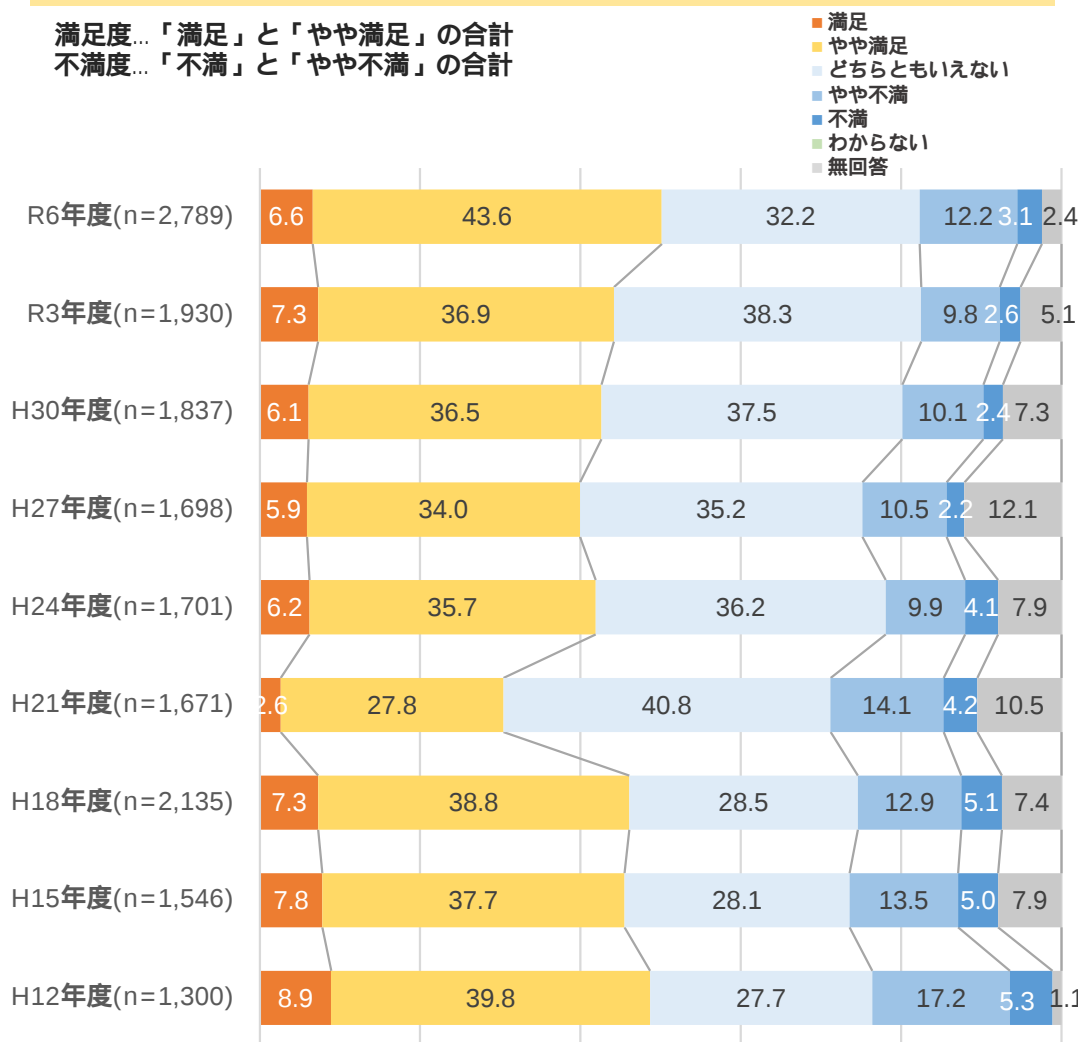
【今の長崎県の暮らしやすさ】

- ・ 県全体では「とても暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」の合計が60.3%と約6割を占める



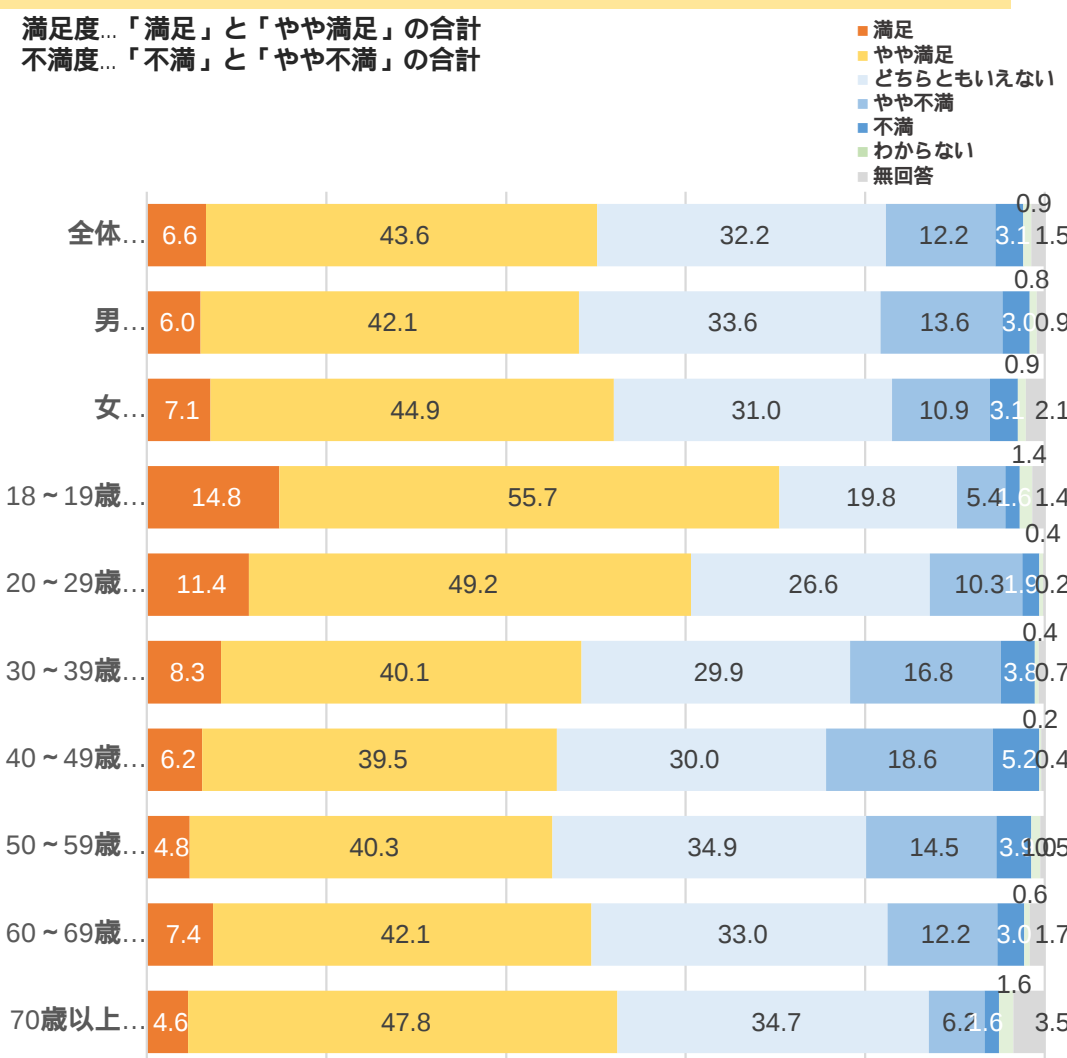
【日常生活の総合満足度】 経年変化

- 満足度・・・前回調査と比較して6.0ポイント増
- 不満度・・・前回調査と比較して2.9ポイント増



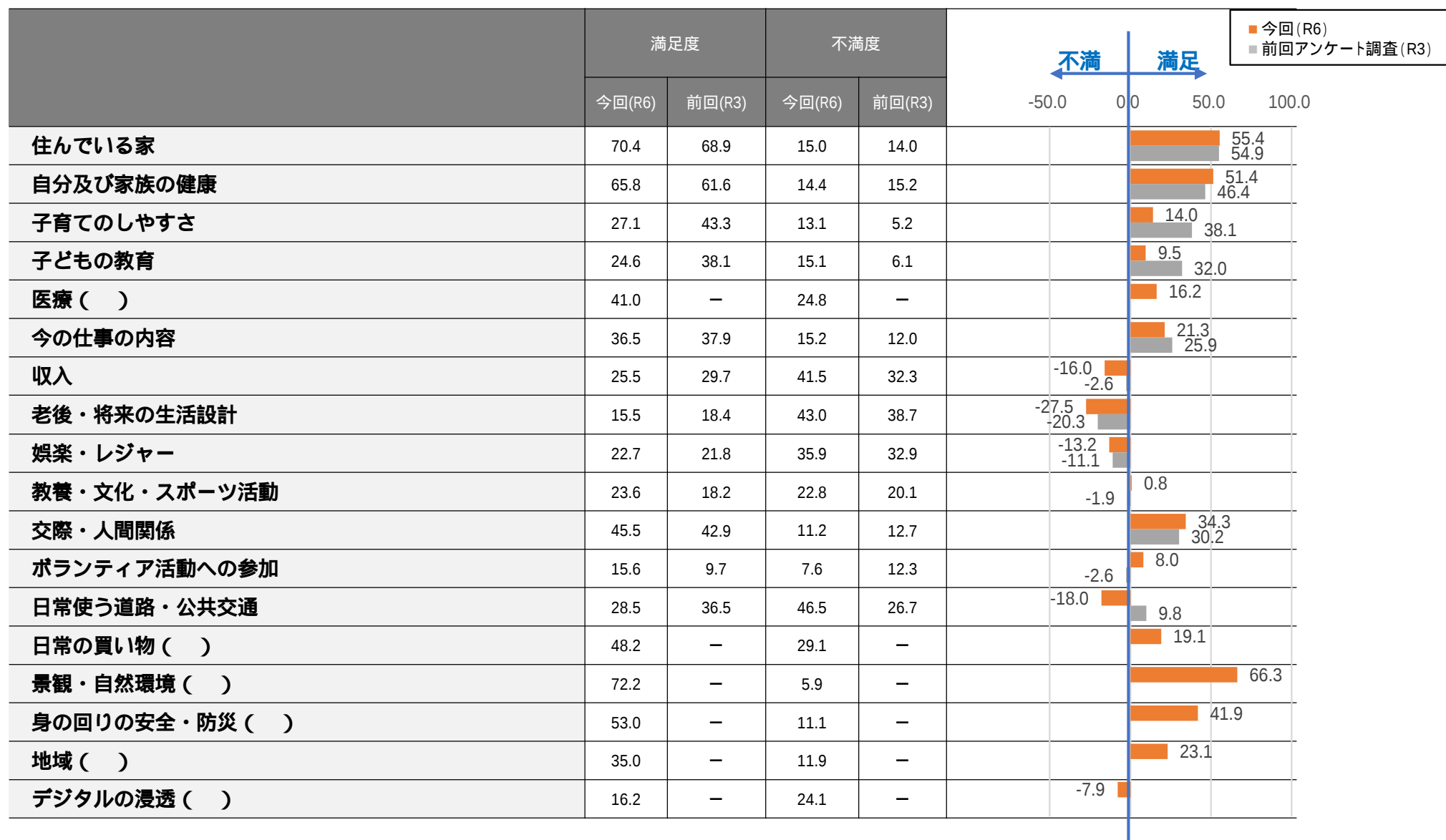
年代別

- 満足度は10代の70.5%が最も高く、50代の45.1%が最も低い
- 不満度は40代の23.8%が最も高い



【日常生活の満足度(分野別)】

- ・ 前回調査と比較し、「子育てのしやすさ」「子どもの教育」「日常使う道路・公共交通」は満足度が縮小
- ・ 「収入」「老後・将来の生活設計」は不満度が拡大



相関分析

【日常生活の分野別満足度×日常生活の総合満足度】

- ・ 世代平均で見ると、1分野(ボランティア活動への参加)を除くほぼ全ての分野で日常生活の総合満足度と中程度以上の相関がみられた。
- ・ 「人間関係」「老後の将来設計」「買い物」「収入」「安全・防災」は、複数の世代において相関がみられる。

各世代において日常生活の総合満足度との相関関係が特にみられた分野は以下のとおり

各世代において相関値0.4(中程度の相関)以上の上位3分野を掲載

10代	「こどもの教育」、「老後・将来の生活設計」、「身の回りの安全・防災」
20代	「交際・人間関係」、「日常の買い物」、「身の回りの安全・防災」
30代	「住んでいる家」、「教養・文化・スポーツ活動」、「交際・人間関係」
40代	「今の仕事内容」、「収入」、「交際・人間関係」
50代	「今の仕事内容」、「収入」、「老後・将来の生活設計」
60代	「収入」、「老後・将来の生活設計」、「交際・人間関係」
70代	「老後・将来の生活設計」、「身の回りの安全・防災」、「地域(自治体活動等)」

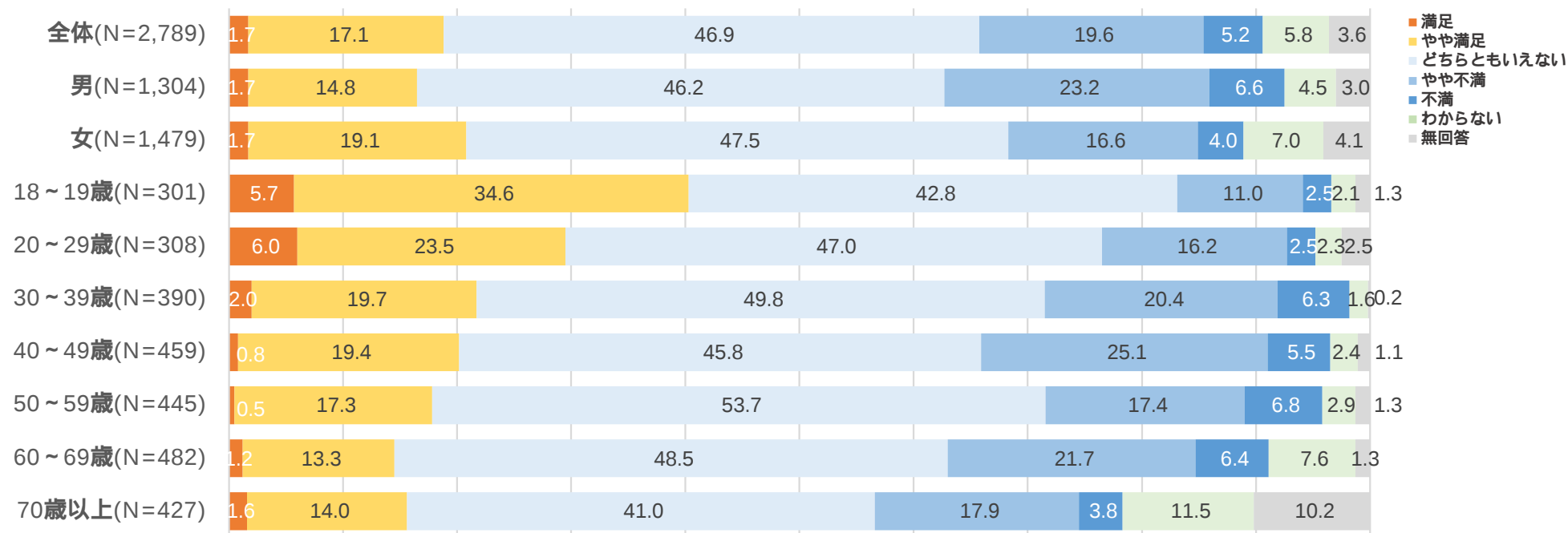
< 県施策のニーズについて >

【県政の総合満足度】

- 県全体では、R3県民センター調査()と比較し「満足」が0.8ポイント、「やや満足」が2.6ポイント上昇し、「どちらともいえない」が11.8ポイント減少

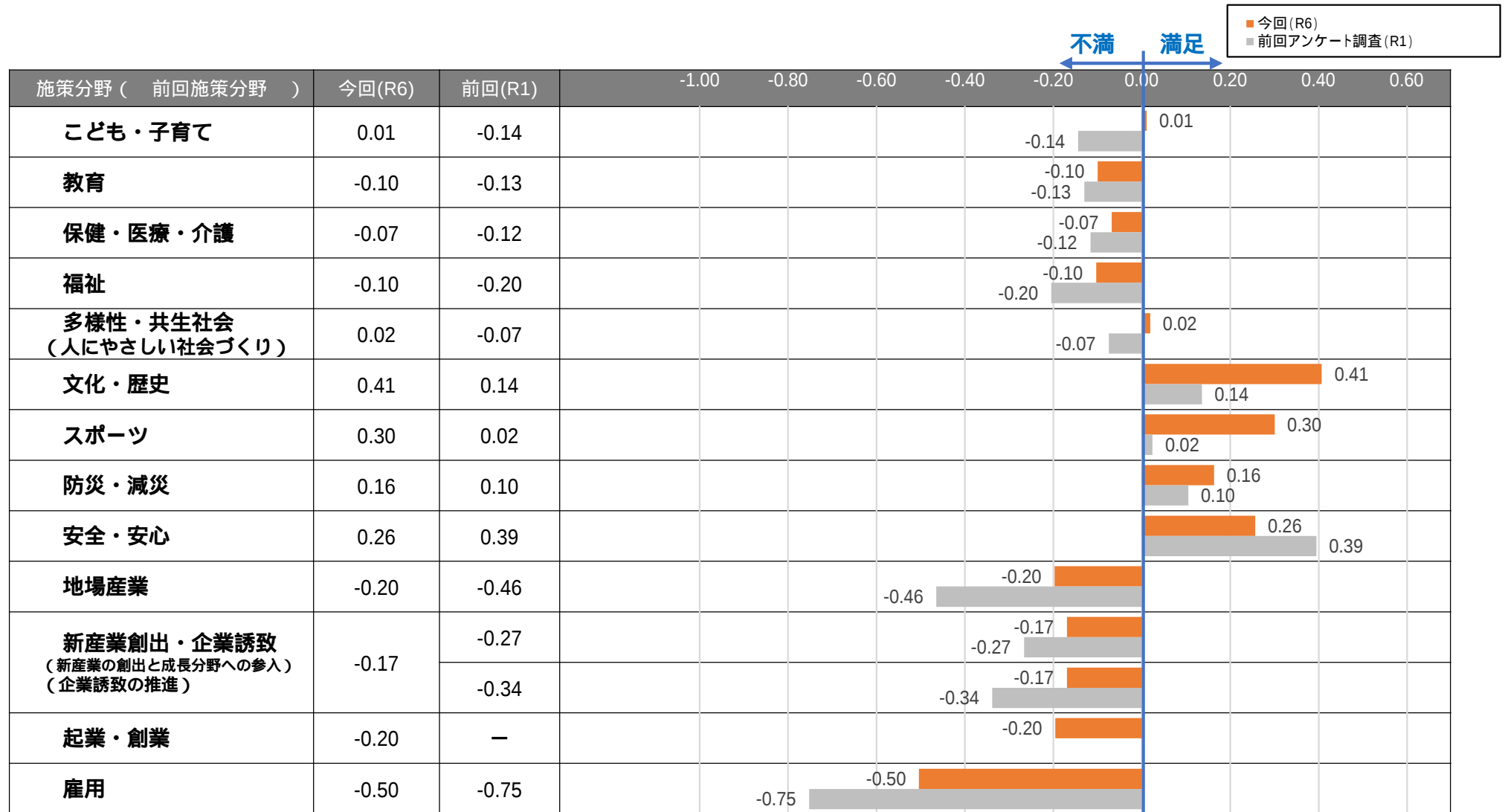
R3県民センターによる調査

「満足」...0.9%、「やや満足」...14.5%、「どちらともいえない」...58.7%、
「やや不満」...20.5%、「不満」...5.4%

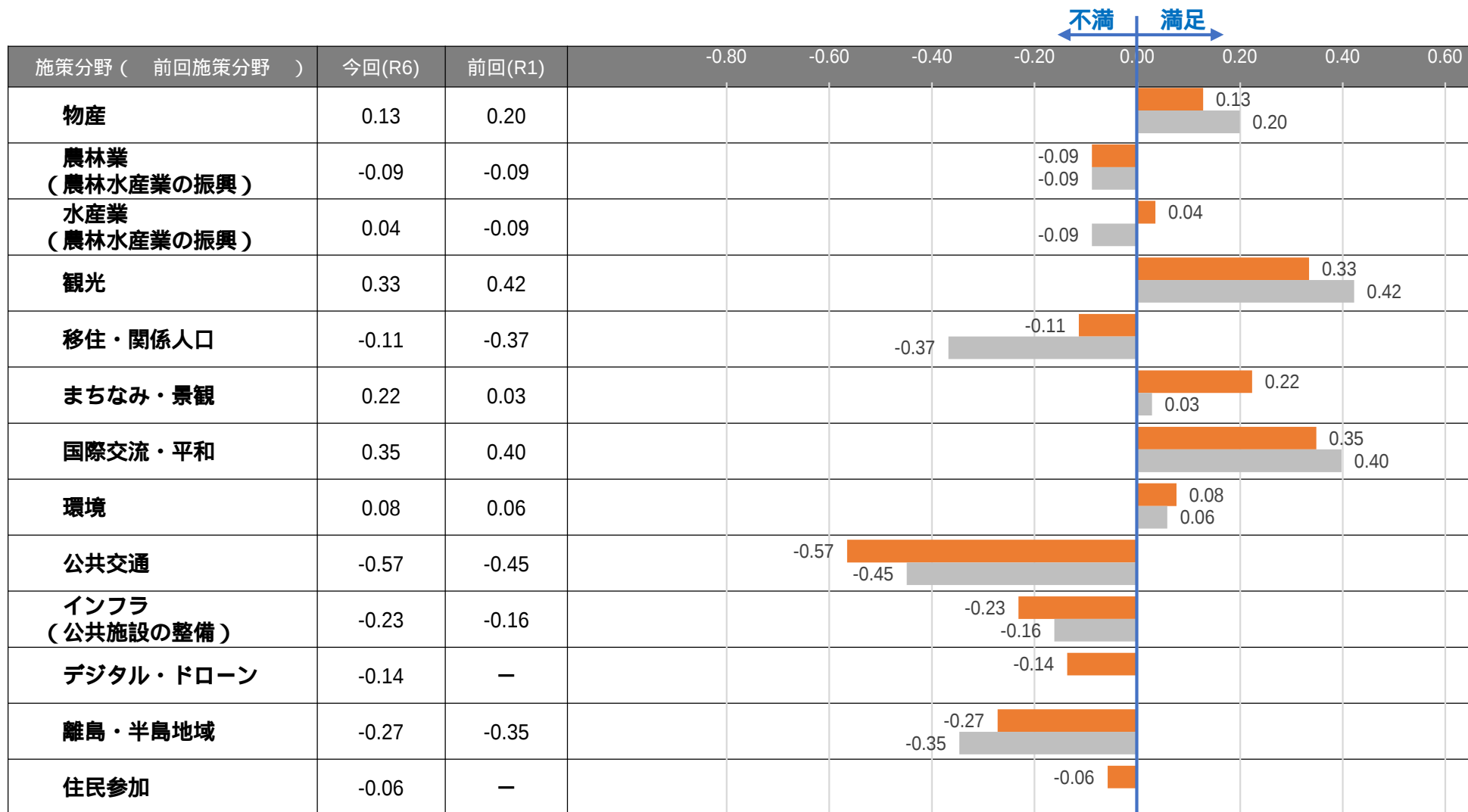


【施策分野別満足度指数】

- 今回の調査で満足度指数が高かった分野は、「文化・歴史」「国際交流・平和」「観光」「スポーツ」「安全・安心」。一方で、満足度指数が低かった分野は「雇用」「地場産業」「公共交通」「移住・関係人口」「離島・半島地域」。
- 新規分野を除く23分野中、16分野については満足度指数が5年前から改善している。



満足度指数 = (「満足」×2 + 「やや満足」×1 + 「わからない どちらともいえない」×0 + 「やや不満」×(-1) + 「不満」×(-2)) / 回答数



相関分析

【施策分野別満足度×県政の総合満足度】

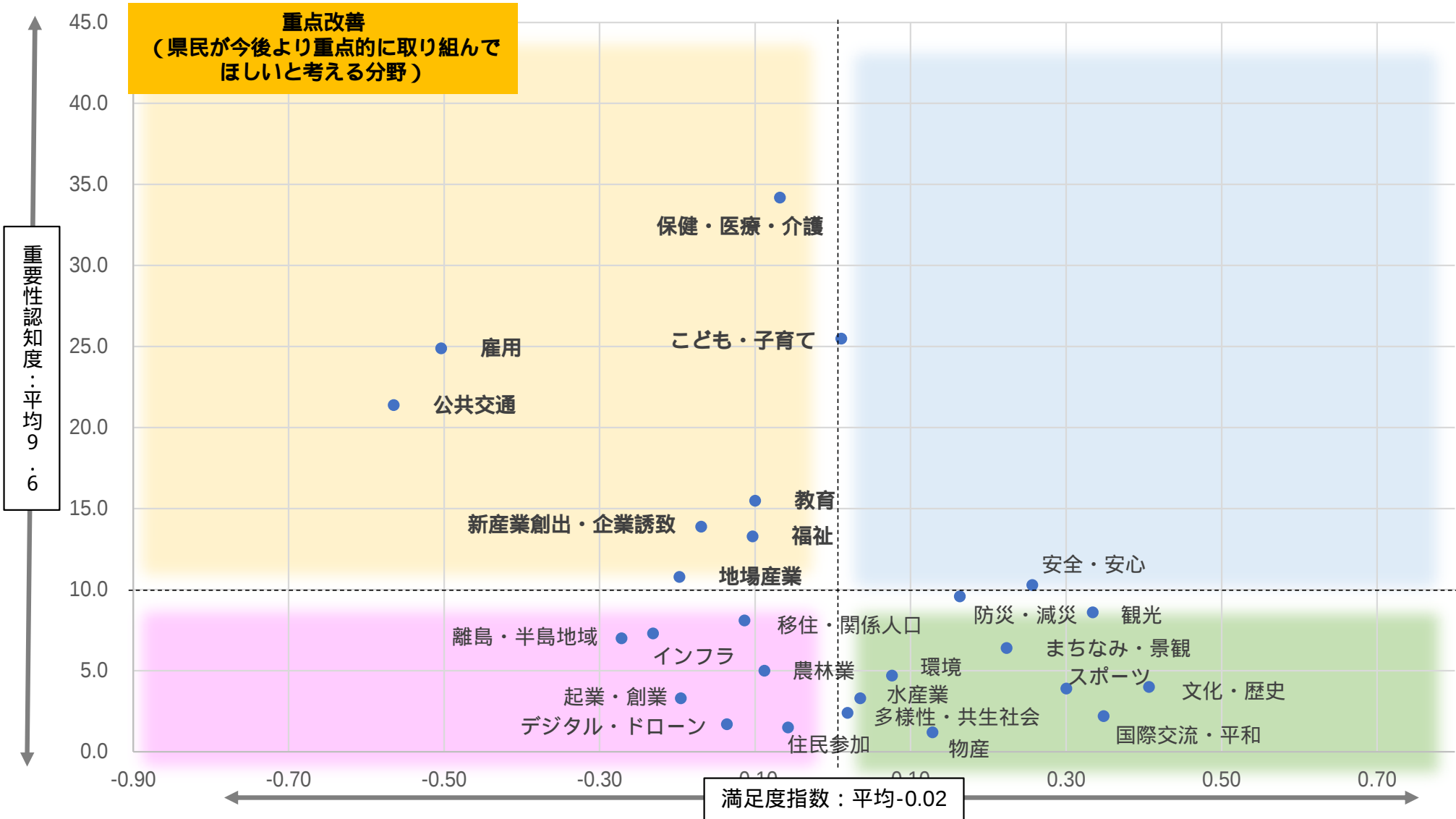
- ・ 世代平均では全ての施策分野で、県政の総合満足度と中程度以上の相関がみられる。
- ・ 「離島半島地域」「インフラ」「こども・子育て」「環境」は、複数の世代において相関がみられる。

各世代において県政の総合満足度との相関関係が特にみられた施策分野は以下のとおり
各世代において相関値0.4（中程度の相関）以上の上位3分野を掲載

10代	「保健・医療・介護」、「福祉」、「住民参加」
20代	「物産」、「まちなみ・景観」、「デジタル・ドローン」
30代	「こども・子育て」、「新産業創出・企業誘致」、「環境」
40代	「新産業創出・企業誘致」、「環境」、「インフラ」
50代	「多様性・共生社会」、「雇用」、「離島・半島地域」
60代	「防災・減災」、「まちなみ・景観」、「離島・半島地域」
70代	「環境」、「インフラ」、「離島・半島地域」

【県政の満足度×重要性認知度】

- ・県民が今後より重点的に取り組んでほしいと考える施策分野は、「保健・医療・介護」、「子育て」、「雇用」に関すること、加えて、県民の満足度が特に低い施策分野は「雇用」と「公共交通」に関する分野
- ・前回(R1)調査時とほぼ同様の傾向であるが、「保健・医療・介護」の重要度が上昇
また、前回と比較し「雇用」については重要性認知度が低下し、「公共交通」については満足度が低下



相関分析

【施策分野別満足度×日常生活の総合満足度】

- ・ 世代平均でみると、日常生活の総合満足度と施策分野は全体的に相関が弱い傾向にあるが、「子育て」「教育」「保健・医療・介護」「福祉」「多様性・共生社会」「スポーツ」「防災・減災」については中程度の相関がみられる。

各世代において日常生活の総合満足度との相関関係が特にみられた施策分野は以下のとおり。

世代平均については相関値0.4（中程度の相関）以上の分野、各年代については、相関値が上位の3分野を掲載。

10代	「教育」、「保健・医療・介護」、「移住・関係人口」
20代	「こども・子育て」、「防災・減災」、「物産」
30代	「スポーツ」、「地場産業」、「新産業創出・企業誘致」
40代	「保健・医療・介護」
50代	「多様性・共生社会」、「新産業創出・企業誘致」、「観光」
60代	「文化・歴史」、「安全・安心」、「観光」
70代	「こども・子育て」、「教育」、「インフラ」
世代平均	「こども・子育て」、「教育」、「保健・医療・介護」、「福祉」、「多様性・共生社会」、「スポーツ」、「防災・減災」（7分野/26分野）

重点的に取り組むべきと考えられる施策

県民が今後より重点的に取り組んでほしいと考える施策分野を抜粋各分野、自由回答において回答割合が高い順に主な意見を記載

分野	主な意見（要約）		
保健・医療・介護	高齢化社会への対応 医療従事者の確保と育成 介護施設の充実	地域医療の充実 介護人材の確保と処遇改善 医療アクセスの改善	医療費負担の軽減 医療サービスの質の向上 健康寿命の延伸
こども・子育て	経済的支援の強化 働きやすい職場環境の整備 情報提供とコミュニティ支援	子育て環境の充実 地域特性への対応	人口減少・少子化対策 教育への投資
雇用	賃金水準の向上と 安定した働き口の提供 離島や過疎地域の雇用確保	若者が定着しやすい雇用環境の整備 雇用創出を支援する仕組の強化	多様な働き方への対応
公共交通	地域公共交通の利便性向上 （便数、運賃、運行時間） 高齢者等交通弱者の支援	離島・僻地の交通インフラ改善 公共交通の財政支援	自動運転等の新技術導入 県内観光地へのアクセス向上
教育	教育の質向上 教育格差の是正 地域との連携・社会性教育	教育費負担の軽減 人材育成 教育施設の改善	教育内容の多様化 高等教育の充実
新産業創出 ・企業誘致	若者定着と 人口減少対策としての企業誘致 インフラ整備と企業誘致の連携	地域特性を活かした産業戦略 地域の声を活かした誘致政策	新産業創出や スモールビジネス立ち上げ支援
福祉	福祉サービスの充実 福祉従事者の待遇改善 若者と福祉の関係	高齢化社会への対応 福祉の平等性と効果的な支援	福祉施設の充実 福祉と他分野の連携
地場産業	地場産業の活性化とブランド化 支援体制の強化と地元主導の発展	雇用創出と若者への魅力発信	地域特性を活かした産業戦略